

箱根組ニュース

第382号 2025年 3月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

真冬のような寒い一日、8名で武蔵五日市駅からアプローチの天竺山から横沢入を歩く。

まず今回はお詫びから始めます。下見の時にバーナー使用が大丈夫かどうかしっかりと確認しなかったために、横沢入での昼食時に火気使用の注意を受けて気分を悪くされた方ごめんなさい。それにしても男女二名からの注意だったがことに女性の方の嫌味な注意？の仕方にはさすがに腹が立った。今後はなるべくこのようなことがないように注意しますのでお許しください。

さて、気分を変えて記事を書きます。2月22日、土曜日、JR新宿駅発7時44分のホリデー快速おくたま3号青梅行きに乗車。西立川駅で8時23分発の武蔵五日市行きに乗り換えだが、乗り換え検索で西立川駅が出て、初めてここで乗り換えたが同じホームで待っているだけでとても便利だった。

武蔵五日市駅に8時50分着。駅内のトイレで準備をして改札を出る。左にでて、バス停先の角地で入念なストレッチと布施さん指導の太極拳で体をほぐす。

9時35分、及川さんの先頭で歩き出す。バス停先の左側、交番の角を左に曲がる。正面にこんもりとした丸みを帯びた山が見える。その右側に山頂が少し角張った山が見える。これがこれから向かう天竺山だ。天竺はインドのことだが、全国にはいくつもこの名前があるようだが、ここがどうしてその名前になったかは分からないらしい。

信号で右側に渡りまたまっすぐ進む。9時40分、五日市線のガード手前を右に曲がり集落に入ってゆく。すぐ右、奥まったところに手打ちのうどん屋さんがある。蕎麦も小麦も自家栽培ということだ。帰りに寄ってみたいという話にもなった。

9時45分、四つ角を左に曲がる。右に曲がつてすぐに左折。何やらクレーン車がいて樹木の伐採をやっているようだが横を通ることが出来た。

9時47分、五日市線の踏切を渡る。三内第二踏切とあり、小さな踏切で人と自転車しか通れないようだ。渡った先は



緩やかな上りでその先に鳥居が見える。鳥居を超えたあたりで振り返ると五日市の街並みがよく見える。山並みもなかなか見事だ。

山に入るとすぐに階段になる。階段手前に小さな祠の御嶽神社。(三内講)とある。この地域(三内)で青梅の御嶽山に300年もお参りしているらしい。それを記念した祠のようだ。これから行く天竺山は三内神社が祭られている。なおも階段を登って行く。

10時、三内神社の拝殿に到着。小休止。なかなか立派な拝殿で境内も割と広い。

右横の割と急な石段を登って行く。登った左側に小ぶりの金毘羅宮。そのすぐ上には稲荷社。針葉樹の緩い山道を少し進む。その先は少し急になり階段状の山道を右に左に登って行く。

10時14分、

尾根に出る。右、

横沢南側尾根。左、

天竺山・三内神社

と標識にある。

我々が登ってき

た方向は三内と

ある。

すぐに左側の

景色が開ける。五

日市の駅と線路、街並み、奥には山々、ここから見る山々、そしてこの周辺は箱根組が始まって30数年とてもお世話になったところだが、こうやってみるととてもいいところだ。今熊山からの戸倉三山も景色の中に入っているようだ。駅から30分ほどでこんな景色が眺められるのはとてもいい。

再出発、緩やかな階段状を進む。少し平坦になったら目の前に急な石段が現れる。かなり古い石段づくりで階段が少し歪んでいるので要注意だ。慎重に登りきる。

10時32分、天竺山山頂。

三内神社に到着。こじんまり

しているがしっかりした作り

の社だ。ゆっくりゆっくり休

憩しながらでも1時間以内で

到着だ。社の右側の東方向が

開けていてスカイツリーが小

さく見えた。新宿の高層ビル

群らしき姿も見える。記念撮

影。

10時45分、下山開始。神

社の裏側北方向の山道を下つ

3月22日(土曜日) 御坂・黒岳(1792.7m)

レギュラーコース 4時間35分

(上り2時間35分、下り2時間)

御坂山地最高峰の黒岳に登ります。展望地からは北側から富士山をまっすぐ眺められます。

河口湖駅手前の富士山駅から甲府行きのバスに乗って、三ツ峠入口で下車。ここから御坂峠経由で黒岳を目指します。下山は富士を見ながら南下し、柿取沢を下り三ツ峠入口バス停に戻ります。

○持ち物 お弁当、飲料水、非常食、カップ、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 3月20日(木)

集合 3月22日(土曜日)

JR新宿駅 6:15発 (12番線)

特別快速高尾行き (前から3両目車内)

途中駅発 中野 6:20 三鷹 6:29

国立 6:36 立川 6:42 日野 6:45

豊田 6:48 (乗り換え) 7:00 発大月行き

7:48 大月着 (富士急線乗り換え)

7:55 発河口湖行き 富士山駅 8:45 着

(バス乗換・4番乗り場) 9:00 発 甲府行

9:24 三ツ峠入口下車 (帰りも同じバス停)

交通費 新宿～富士山 片道 2,381 円

富士山～三ツ峠入口 片道 700 円

帰りのバス 16:02 17:02 18:12...20 時

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegum>



てゆく。少し下ると山頂を迂回する巻き道と合流する。少し急な階段状と木の根の多い下りを慎重に降りる。最後はロープの付いた下りで林道に出る。

10時57分、広い林道に降りる。左に行けば車道に出て五日市駅に行ける。山道を通らずに横沢入に行くにはこの林道が便利だ。右に横沢入へと進む。

11時14分、横沢入の田んぼの景色が見える。昔ながらの田舎の田んぼの風景だ。横沢入の保全活動をしている人だろうか。田んぼを耕運機で耕している。

田んぼの周りは木々が囲むように森になっている。田んぼが終わったところに大きな屋根付きの休憩所がある。

11時半、昼食の準備開始。メニューは豚汁だ。気温が低く、風防ガードを忘れたのでなかなか沸騰しなかったが何とか出来上がった。皆さんの美味しい持ち寄り。仕上げのコーヒーも体を温める。布施さんのビンゴゲームもあり。寒いなか2時間のパーティーを終了。

1時35分、歩きだす。まっすぐ進むと突き当り右に曲がる。増戸保育園の先右側にお寺が見えてくる。大悲願寺だ。1時48分、立派な山門に到着。

「大悲願寺は、1191年(建久2年)、源頼朝の命を受けた平山季重が醍醐寺三寶院の僧を招いて開いたと伝えられる寺院。1623年(元和9年)、この寺を訪れた仙台藩主伊達政宗は、見事な白萩に心を奪われた。寺の15代目住職の秀雄が、政宗の弟だと。(政宗の手紙)内容は、大悲願寺を訪れた政宗が庭に咲いた白萩の美しさに心奪われ、江戸に帰ってから株分けを所望したものである。この手紙の包み紙の内側には、「実は大悲願寺の15代目住職の秀雄は、伊達輝宗の末子で、伊達政宗の弟である」と記されている。」

山門自体が古いものでとても素晴らしいが、まっすぐ奥に入ったところにある観音堂がまた素晴らしい。彫刻が見事で見飽きない。その東側には鐘楼、そしてその先には大きな本堂がある。見学を終了して武蔵五日市駅に戻る。お腹がいっぱいでうどん屋さんは寄れなかった。またいずれ。



